
死と愛のせかい

りらいず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死と愛のせかい

【コード】

N6087P

【作者名】

りらいず

【あらすじ】

守ろうとして、守れなかったものの行方

どこか、新鮮なおいがした

ああ、そうか。僕は死んだんだっけ

いまでもはつきりと覚えている。

狂気に満ちた母親の顔と、その手に持った包丁

・・・僕は殺されたんだ、母親に

きつと、ここは地上と天国の境目なのだろう

いや、僕のことだから地上と地獄の境目かもね

僕の手には、一輪の花が供えてあった

この花は何だっけ？昔母さんと一緒に見た気がする

・・・この、甘酸っぱいにおい

そうだ、思い出した

父さんが死んだとき、仏壇の前で見たんだ、母さんと一緒に

そのとき、母さんは少しも泣かなかった
「父さんが死んでしまった今、あなたを守れるのは私だけよ」と
髪を撫でてくれた。

そのとき嗅いだ、百合のにおいだ

でも結局、母さんは僕を守れなかった
守ろうと、守ろうと、守ろうと必死になって
それができなくなったから、殺したんだ

僕は、父さんが死んだ時以来に涙を流した
母さんを、ここまで追い込んでしまったのは僕だ
母さんを、殺人者にしてしまったのは僕だ

母さんのことだ、きっと僕を殺した後すぐに自殺するだろう

ごめんなさい、父さん
僕は母さんを守れなかった

ごめんなさい、母さん
一足先に、向こうへ逝きます

(後書き)

この物語ができたきっかけは

GARNET CROW ボーカル 中村 由利さん 由利 百合

です)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6087p/>

死と愛のせかい

2011年1月4日03時59分発行